

147 「主よ感謝します」

主よ感謝します 今のこのときを
こころみの中にも 主の平安がある
なにが(なにが) わたしを(わたしを)
主から(主から) はなすのか(離すのか)
悩みか(なやみか) 苦しみか(苦しみか)
飢えか(うえか) つるぎか(つるぎか)
なにものも私を はなすものはない
主の深い愛から はなすものはない

184 主の前にひざまずき

主の前に ひざまずき

心から 賛美ささげる

あなたは とこしえに 私の神

新聖歌324番 「主と主のことばに」

- 1 主と 主のことばに たよるは楽(たの)し
主は わが願いを 聞き入れたもう
* ひたすらただ主に たよるわが身を
主よ 主よ なおなお 恵ませたまえ
- 2 きよくなしたもう 血潮(ちしお)尊(とうと)し
今 信じくぐらば きよめらるべし * (くりかえし)
- 3 地につく宝を 捨(す)つるは易(やす)し
命の小道(こみち)を たどる身なれば * (くりかえし)
- 4 ただ主にたよりて 暮らすは楽(たの)し
かなたの国まで みちびきたまわん * (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌267番 「 渴(かわ)けるわれは 上より賜(たま)う 」

1 渴(かわ)けるわれは 上よりたまう
命の水を 慕(した)い求む なが御誓(みちか)いに
かたく立てば イエスよ願いに こたえたまえ

* イエスの愛 イエスの愛 海のごとく よせきたる
栄えの波 われをつつみ わが喜び かぎりなし

2 恵みを降らす 手ほどの雲(くも)
はやも彼方(かなた)に 見えはじめぬ
いよいよあつく われ祈らば
イエスよただちに 降らせたまえ * (くりかえし)

【次】

新聖歌267番 「 渴(かわ)けるわれは 上より賜(たま)う 」

3 救いの川の あふるるまで

恵みの雨は 降りしきりぬ 罪とけがれを

洗い流し われを恵みに 全(また)くひたす

* イエスの愛 イエスの愛 海のごとく よせきたる

栄えの波 われをつつみ わが喜び かぎりなし

4 救いきよむる 流れは今

見よ ちからもて 押し寄せ来(き)ぬ

みわざをたたえ さけぶ声は

天(あめ)にも地にも ひびきわたる * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌62番 「天(あま)つみ民も」

天(あま)つ み民も

地にある者も

父 子 御霊(みたま)の神をたたえよ

神をたたえよ

アーメン